



学校だより

なかやまっ子

中山小学校

No.10 冬休み号

平成23年12月発行

学校教育目標

健やかな体と豊かな心を持ち、自らよりよく考え、目標に向かって努力する子どもを育てる。

〔笑顔であいさつする子ども〕〔進んで学ぶ子ども〕〔みんなのために働く子ども〕



ゆく年... , くる年...



ゆく年平成23年は、衝撃的な出来事が続いた一年でした。3月11日の東日本大震災とそれに伴う福島原子力発電所からの多量放射能拡散事故、夏季の全国各地における台風等による水害・土砂災害など、言葉を失うほど辛く悲しいものも多くありましたが、6月-7月にドイツで開催されたFIFA女子ワールドカップでの「なでしこジャパン」の世界一という快挙は、日本人である私たちに大きな喜びとともに勇気をもたらせてくれる明るいニュースでした。

675名の「なかやまっ子」は、保護者・地域の方々にしっかりと見守られ、本日、第二学期終業式を無事に終えることができました。これまでのご支援・ご協力に対しまして、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、明日から2週間の冬休みが始まります。子どもたちが楽しみにしている様々な行事が続きますが、子どもに合った役割を与えるとともに、それをやり遂げたときに誉めて「喜び」を感じさせることが大事です。何もさせない、役割の与えっ放しというのではいけません。「喜び」は、必ず子どものよりよい成長につながります。くる年平成24年のお子様の大きな成長につなげることが出来ますよう、各家庭で工夫してお取り組みください。



お願いしま - す

◎冬休みも「人間力」を育てる。

ちから
力を育てる「あいうえお」

あ…朝、ご飯をゆっくり食べる
い…いつでもどこでも元気に挨拶
う…歌うときにはしっかり声出す
え…笑顔でお話キャッチボール
お…おうちで勉強「×10」

◎持ち物に記名する。【=親の仕事です=】

名札・服・靴・防寒具・鉛筆など、持ち物には、親御さんがご記名ください。

◎冬休みには「大切にする心」を育てる。

子どもたちの中には、この時期、高額な品物や現金を手にするという子もいることでしょう。

親としては、子どもの喜び顔を見るのはうれしいことですが、ただ与えるだけ（楽しいことを経験させるだけ）に終わらないようご配慮いただければと思います。どのご家庭でも、物を大切にする心や感謝の気持ちをもつこと、また、正しいお金の管理や使い方については、これまでもお話しされていると思います。今年も、この時期をよい機会と捉え、前述の内容につきまして、お子様の成長に合わせて分かりやすくお話しいただければと思います。